



## 山本 聡 (やまもと さとる)

地質情報研究部門 リモートセンシング研究グループ

地質情報研究部門リモートセンシング研究グループの山本 聡です。21年前に神戸大学で学位取得後、北大低温研、東大新領域、環境研、宇宙システム開発利用推進機構と渡り歩き、ご縁がありましてこの4月にGSJに着任いたしました。一方で、所属は変われどプロジェクト変わらずという面もあり、研究テーマや共同研究者の多くが基本的に変わっていません。実際、産総研関係者(GSJ内外)においても、プロジェクト関係者や過去の論文共著者の方々が少なからずいらっしゃいますので、この新人紹介を見て「どこかで見た名前/顔だ」と思った方もいるのではないかと思います。

専門は地球や月、惑星を対象としたリモートセンシング研究ですが、特に衛星データの品質管理研究と大量衛星データを使った地質・鉱物分布等の地質情報抽出研究で、これまで様々な論文を公表しています。また天体衝突による地球環境変動の解明プロジェクトに関わっていた時期もあり、衝突クレータに関する論文も複数発表しています。さらに最近は衛星データと人間活動記録も含めた地理空間情報データとの融合解析による宇宙ビジネス研究にも興味を持って活動を行っています。産総研ではこれまでの知見・経験を活かして、様々な専門の方と人的交流・融合研究を



行うことで、新しい研究課題への挑戦や新プロジェクトの立ち上げなど、大きく後継していきたいと考えています。

## 戸塚 修平 (とつか しゅうへい)

地圏資源環境研究部門 鉱物資源研究グループ

イノベーションスクールの制度で地圏資源環境研究部門鉱物資源研究グループに配属されました戸塚修平です。3月に九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻で博士(理学)の学位を取得しました。博士過程までは、沖縄トラフの海底熱水鉱床を研究対象として、熱水域の掘削コア試料の解析やPb同位体組成をツールとして金属の起源の解明を試みてきました。純粋な鉱物への興味から始めた研究でしたが、産総研では「資源」という側面で社会へ還元できるような仕事が少しでもできればと考えています。またこれまでは調査船による海洋での調査がほとんどでしたが、機会が許せば所属するグループの陸上での調査にも参加したいと考えております。ただ現在の新型コロナウイルスの流行の中、全く先が読めない状況ですので、まずはこれまでの成果を発表・論文化すると共に、イノベーションスクールの制度であるOJTを最大限活用し、自身の能力向上に努めたいとおもいます。皆さま、よろしくお願いたします。

